

令和5年度 第1回大阪府精神保健福祉審議会
アルコール健康障がい対策推進部会 議事概要

- 日 時:令和5年8月10日(木) 午後2時30分から午後4時まで
- 場 所:大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)大会議室3
- 出席委員:入來委員、小野委員、佐古委員、清家委員、辻本委員、堤委員、中辻委員、
中屋委員、松井委員、峰委員、吉田委員、和氣委員
- 議 事:(1)第2期大阪府アルコール健康障がい対策推進計画(骨子案)について
(2)その他

■議事結果:

○第2期大阪府アルコール健康障がい対策推進計画(素案)について、委員の意見を踏まえ、同計画(案)の作成を進めることとする。

■主な意見:

【取組みの柱① 普及啓発の強化】

- ・若年層をターゲットとした啓発について、アニメーションや漫画の方が馴染みが深く、見てもらえるのでは。
- ・依存症ポータルサイトのアクセス数を増やすためには、もずやんや大阪府知事のエックス(旧 Twitter)などで周知すれば、若年層にもインパクトがあるのでは。
- ・飲酒運転による事故件数が上がっているが、福岡県や三重県では、飲酒運転を無くすことをめざす条例が制定されている。大阪府でも検討してはどうか。

【取組みの柱② 相談支援体制の強化】

- ・相談先があると知っていても、実際に電話や SNS で相談するのはハードルが高い。身近に感じられるような相談しやすい体制にしてもらいたい。

【取組みの柱③ 治療体制の強化】

- ・身体科・精神科医療機関から専門医療機関、自助グループへ上手く繋がっていないため、どこに課題があるか調査が必要ではないか。
- ・身体科医療機関、特に総合病院からの紹介が10年間で減っている。実態を調査してもらいたい。
- ・総合病院の精神科にアルコール依存症について知ってもらうことも、連携をとるための手段となるのではないか。
- ・総合病院に関しては、ソーシャルワーカーがいる地域連携室とやりとりする方が繋がりやすいのではないか。

- ・肝機能の悪化とアルコール依存症は関連性が高いが、その認識が低い医師が増えて
いると感じる。
- ・「地域連携等による依存症早期発見・早期対応・継続支援モデル事業」の中で、研修参加
医療機関に対してアンケートをとったところ、AUDIT については約半数が知らないと
回答している。また、AUDIT を使ったことがある方が 3 割弱程度。実際まだ浸透して
いないのではないか。医療機関への調査が必要ではないか。
- ・SBIRTS の普及について、保健所の機能を開業医等に知ってもらうことで、もっと広が
っていくのではないか。

【取組みの柱④ 切れ目のない回復支援体制の強化】

- ・国の2期計画にて「回復支援施設」が明記されている。府の2期計画でも記載すべきで
はないか。

【全体】

- ・滋賀県では依存症に関する調査を行い、課題の抽出を行ったうえで、計画を策定して
いる。大阪府でも第3期計画の策定に向けて、調査の実施も検討してはどうか。